

のお知らせ

●問い合わせ●

鴻巣保健センター ☎543-1561、FAX 543-5749
 吹上保健センター ☎548-6252、FAX 549-2696
 ※鴻巣保健センターにお車でお越しの方は、市役所
 駐車場をご利用ください

乳幼児から高校生までの予防接種

接種はすべて、委託医療機関（13ページ）での個別接種です。市外の医療機関での接種は、助成の対象とならない場合がありますので、事前にお問い合わせください。

■定期予防接種

予防接種法により実施しています。市から郵送された「予防接種と子どもの健康」や、通知をよく読み、事前に医療機関に予約して受けてください。対象の年齢・期間であれば無料で接種ができます。通知が届かない方や転入され予防接種がお済みでない方、予診票をお持ちでない方はお問い合わせください。

予防接種の種類	対象及び接種回数等
ヒブ	生後2か月～5歳の誕生日前日まで（標準接種開始年齢＝生後2か月～7か月）に1回～4回接種 ※接種開始年齢等によって、回数が異なります
小児用肺炎球菌	生後2か月～5歳の誕生日前日まで（標準接種開始年齢＝生後2か月～7か月）に1回～4回接種 ※接種開始年齢等によって、回数が異なります
4種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ）又は不活化ポリオ	生後3か月～7歳6か月になる前日までに4回接種
B型肝炎	1歳の誕生日前日までに3回接種
BCG	1歳の誕生日前日までに1回接種
麻しん風しん混合（MR）	1期＝1歳～2歳の誕生日前日までに1回接種 2期＝平成23年4月2日～24年4月1日生まれのお子さん、平成30年3月31日までに1回接種
水痘（水ぼうそう）	1歳～3歳の誕生日前日までに2回接種 ※水痘にかかったことのないおさんが対象
日本脳炎	1期＝生後6か月～7歳6か月になる前日までに3回接種 2期＝9歳～13歳の誕生日前日までに1回接種 ※2期の予診票は9歳の誕生日の翌月に郵送します ※平成19年4月1日以前生まれの方は、20歳の誕生日前日まで接種可能です
二種混合（破傷風・ジフテリア）	11歳～13歳の誕生日前日までに1回接種 ※予診票は11歳の誕生日の翌月に郵送します
子宮頸がん	小学6年生～高校1年生相当の女子 半年間で3回接種 ※平成25年6月に国から積極的勧奨は控えるようにと通知があり、市から個人通知は出していません。ご希望の方はお問い合わせください

■任意予防接種

予防接種法に基づくものではなく、保護者の希望により接種する予防接種です。疾病予防と子育て支援を目的に、右記の予防接種について助成をしています。

予防接種の種類		対象年齢	助成回数	費用 (市内委託医療機関で接種した場合)
ロタウイルス	1価	生後6週～24週0日	2回	1回 7,500円
	5価	生後6週～32週0日	3回	1回 5,000円
おたふくかぜ		1歳以上小学校就学前年度（平成30年3月31日まで）	1回	3,500円

歯医者さんは痛くなる前に！40歳からの歯科健診 ～年に1度の歯科健診で、いつまでも自分の歯でおいしく食べましょう～

実施期限／平成30年3月31日(土) ※休診日を除く

ところ／申込み時に実施医療機関一覧表を配布

対象／健診当日に市内在住の40歳以上の方 ※治療中の方はご遠慮下さい。健診は年度内に1人1回まで

内容／問診、むし歯・歯周病等の診査

費用／400円（受診時に医療機関の窓口でお支払いください）※生活保護世帯の方は無料（要受給証）

申込み／直接又は電話で鴻巣保健センター又は吹上保健センター



保健センターからの

高年齢者の肺炎球菌ワクチン接種

■定期予防接種

対象／①平成29年度中に、次の年齢になる方

65歳	昭和27年4月2日～ 昭和28年4月1日生	85歳	昭和7年4月2日～ 昭和8年4月1日生
70歳	昭和22年4月2日～ 昭和23年4月1日生	90歳	昭和2年4月2日～ 昭和3年4月1日生
75歳	昭和17年4月2日～ 昭和18年4月1日生	95歳	大正11年4月2日～ 大正12年4月1日生
80歳	昭和12年4月2日～ 昭和13年4月1日生	100歳	大正6年4月2日～ 大正7年4月1日生

②接種日現在、60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能に障がいのある方（身体障害者手帳1級相当）

接種方法／委託医療機関で接種

接種回数／1回 ※接種期限＝平成30年3月31日(出)

その他／●対象①、②とも過去に高齢者肺炎球菌ワクチンを受けたことがある方は、市の助成を受けたか否かに関わらず、定期接種の対象となりません ●市外

の医療機関での接種を希望される場合は、お問い合わせください

費用／2,500円 ※生活保護世帯は受給証を持参により無料

持ち物／健康保険証、対象②に該当する方は身体障害者手帳

■市独自の助成で行う任意予防接種

対象／①予防接種当日に65歳以上の方 ②予防接種当日に60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能に障がいのある方（身体障害者手帳1級相当）

接種方法／委託医療機関で接種 ※市外の医療機関では、助成の対象とならない場合がありますので、事前にお問い合わせください

費用／4,100円（市内委託医療機関で接種した場合）

助成回数／5年以上の間隔をおいて2回まで（これまでの接種回数を含む）

持ち物／健康保険証、対象②に該当される方は身体障害者手帳

■すべての予防接種を実施する鴻巣市委託医療機関

平成29年4月1日現在

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
相原 医院	569-1951	斎藤外科胃腸科医院	541-4345	プライムクリニック	543-8888
北鴻巣クリニック	596-1423	多島小児科医院	548-3764	柳澤小児科内科クリニック	597-1171
河野小児科医院	541-0146	はやしだ産婦人科医院	541-8000		
小室クリニック	541-0020	吹上整形外科医院	548-5211		

■一部の予防接種を実施する鴻巣市委託医療機関

平成29年4月1日現在

医療機関名	電話番号	定期予防接種											任意予防接種		
		ヒブ	小児用肺炎球菌	4種混合	B型肝炎	BCG	麻しん・風しん混合	水痘	日本脳炎	二種混合(学童)	子宮頸がん	高齢者肺炎球菌	ロタ	おたふくかぜ	高齢者肺炎球菌
あおばクリニック	580-5670	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○
おおさきクリニック	580-7720	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
大塚 医院	541-0932	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
こうのす共生クリニック	540-6677	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
こうのす共生病院	541-1131	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
鴻巣外科胃腸科	543-7770	×	×	○	×	×	○	○	学童のみ	○	×	○	○	○	○
鴻巣第一クリニック	542-5566	×	×	×	×	×	×	×	学童のみ	○	×	○	×	○	○
鴻北クリニック	595-3733	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埼玉県済生会鴻巣病院	596-2221	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
埼玉脳神経外科病院	541-2800	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
佐野 医院	541-2888	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
サンビレッジクリニック鴻巣	540-0088	×	×	×	×	×	○	○	学童のみ	○	○	○	×	○	○
清水こども医院	540-6360	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
昭とクリニック	548-0025	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
高橋胃腸科医院	542-5018	×	×	○	×	×	○	○	学童のみ	○	○	○	×	×	○
たけうちクリニック	594-7701	×	×	×	○	×	○	○	学童のみ	○	○	○	○	○	○
田嶋 医院	548-6230	×	×	×	×	×	×	×	学童のみ	○	×	○	×	×	○
坪山整形外科	548-0052	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
中村 医院	541-1331	×	×	×	×	×	×	×	学童のみ	○	○	○	×	○	○
仁科整形外科	543-7099	×	×	×	×	×	×	×	学童のみ	○	○	○	×	×	○
ひまわりこどもクリニック	544-5600	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
平野産婦人科医院	548-4422	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ひろせクリニック	595-3566	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	○
吹上共立診療所	548-3865	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
ふたむら内科クリニック	540-6635	×	×	×	×	×	×	×	学童のみ	○	○	○	×	×	○
ヘリオス会病院	569-3111	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○
ヘリオスクリニック	540-7320	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○
星野 医院	542-8911	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○
宮坂 医院	569-0100	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
村越外科胃腸科肛門科	548-0048	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
山口内科クリニック	541-0215	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
山崎 医院	548-0219	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山田ハートクリニック	540-4180	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
湯本フラワー通りクリニック	595-1711	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
わたまクリニック	541-5756	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○





保健センターからのお知らせ

●問い合わせ ● 鴻巣保健センター(☎543-1561、FAX 543-5749) 吹上保健センター(☎548-6252、FAX 549-2696)
※鴻巣保健センターにお車で越しの方は、市役所駐車場をご利用ください

♡ パパとママのアロママッチョ教室

とき／5月20日(土)9時30分～12時
ところ／吹上保健センター
対象／平成28年6月～11月生まれのお子さんと保護者
内容／●母＝アロマでリラックス、ベビーマッサージ、離乳食講座 ●父＝筋トレで目指せミラクルボディ、絵本読み聞かせ、パパのための食講座
費用／無料
その他／未就学児の兄・姉の託児あり
申込み・問い合わせ／5月1日(月)～12日(金)の9時～17時に、電話で吹上保健センター

🩺 こころのリフレッシュ講座

とき／①6月20日(火)10時～12時 ②6月27日(火)10時～12時
ところ／鴻巣保健センター
定員／各日20人(先着順)
内容／①よりよい人間関係を築くコツ～アサーションスキルを学ぼう～ ②自分を見つめ直そう～ココロが軽くなる思考方法～
講師／①臨床心理士 ②ライフオーガナイザー
持ち物／筆記用具
申込み・問い合わせ／6月6日(火)～15日(休)の平日9時～17時に電話で鴻巣保健センター



ウイルス性肝炎について教えてください

ウイルス性肝炎は、肝炎ウイルスに感染して肝臓の細胞が壊れていく病気です。主な肝炎ウイルスにはA型・B型・C型・D型・E型の5種類があります。慢性肝炎は、B型・C型肝炎ウイルスにより、長期に軽度肝障害が続き、徐々に肝臓が繊維化し、肝硬変や肝がんに進展します。急性肝炎はA型・B型・E型肝炎ウイルスによるものが多く、急速に肝細胞が破壊されるため、発熱、全身倦怠感、黄疸などの症状が出ますが、ほとんどが自然経過で治癒します。ただし、急性肝炎のうち、発熱から8週間以内に高度の肝機能障害を起こし、脳症を来すものを劇症肝炎といい、集中的な医学管理を要します。救命のため肝移植を必要とすることも多く、生存率は30%ほどです。

A型・E型肝炎は、経口感染で急性肝炎を発症しますが、慢性化はありません。A型肝炎は汚染された水や貝類などから感染します。E型肝炎は、近年日本でも発症が報告されるようになり、野生動物(シカ・イノシシ)や豚の生食で感染します。B型・C型肝炎は、血液を介する感染(輸血・血液汚染・不衛生な注射行為・入れ墨など)で、急性肝炎も発症しますが、慢性肝炎の原因となります。

B型肝炎は、母児感染(垂直感染)や幼少期の感染では、無症候性ウイルス保有者(キャリア)となります。多くが経過中に肝炎を発症したのち、沈静化して再びキャリアとなりますが、一部(10%～20%)が慢性肝炎となり、肝硬変・肝がんに至ります。

成人期のB型肝炎感染は、大部分が性交渉によります。従来日本にある遺伝子型(ゲノタイプB、C)ウイルスでは、急性肝炎を発症後、劇症化さえしなければ事実上治癒(HBs抗体の獲得)して、慢性化はまれとされてきました。

最近、青年層を中心に顕著に増えている欧米由来の遺伝子型(ゲノタイプA)では、急性肝炎から慢性肝炎に移行することがかなり多いことが注目されています。

C型肝炎は、かつては輸血や血液製剤が原因で感染が蔓延しました(現在では感染血液はほぼ完全に排除されますので、極めて安全です)。急性肝炎を発症すると、60%～70%が慢性肝炎となり、肝硬変・肝がん発症にいたります。したがって、慢性肝炎はウイルス排除のための積極的な治療が必要となります。

B型肝炎は、インターフェロン注射や核酸アナログ製剤内服、またはその併用でB型肝炎ウイルスDNAを血中から消失させ、肝炎を沈静化することが治療の目的となります。核酸アナログ製剤は、原則止めないで継続することが必要です。肝臓からのウイルス完全排除は困難ですが、長期間DNAが消失している人の中には、事実上の排除(HBs抗体の獲得)が達成される人も出てきます。

C型肝炎の治療は、従来副作用の多いインターフェロン注射を中心に行われてきました。最近経口抗ウイルス薬の3か月～6か月という短期間の内服で、副作用もかなり少なく、ウイルスの完全排除も90%以上の高率で可能となりました。無症候性ウイルス保有者や、肝機能が低下していない肝硬変(代償期肝硬変)まで、積極的に治療すべき時代となりました。

ウイルス性慢性肝炎治療は、公費助成が行われ、経済的負担を軽減して受けることができます。また、市検診の肝炎ウイルス検診、保健所の肝炎検査、県の委託による医療機関での肝炎検査などで、無料の肝炎ウイルス検査が受けられます。詳細は、市保健センターや鴻巣保健所にお問い合わせください。

(一般社団法人 鴻巣市医師会)

